

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

コロナ・実態・事例ニュース



2022年1月14日発行 (No.15) 連絡先/〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 06-6772-1360 Fax06-6772-1376 Eメール/jimukyoku1@f-zenkoku.net

第6波コロナ感染爆発！ 今、福祉の現場で何が起きているのか！

お寄せいただいた声を
ご紹介します！

・保護者が濃厚接触者になったり、陽性になったりということが年末から増えてきている。子どもたちが陰性で保育園としては休園等にはなっていないが、いつそうなるかと不安になる。消毒も自園でしなくては行けないが、自己流の消毒で良いのか不安である。
・消毒等は業者を頼むと多額の費用が掛かるので少しでも国や自治体に補助してもらえるとありがたいです。(大阪 保育)

・大規模改修工事中で玄関受け入れになるため、特にお迎え時に密になる時間帯がある。保育では感染者が出たときの聞き取り調査表をもとに、保育の状況を記録している。夏に4日間休園になったときに、支援児の保護者が特に大変だった。休園にならないよう感染対策をおこなうしかない。
・休園が長引かないように対策してほしい。必要に応じて職員のPCR検査を実施してほしい。(大阪 保育)

・コロナが発生した場合、職員配置がたちまちできなくなる。外出行事ができなくなり、利用者のストレスが増し、家族への負担が増える。
・インフルエンザ並みの対応に変えてほしい
(兵庫 障害)



●第6波コロナ感染爆発！今、福祉の現場で何が起きているのか！状況をお知らせください！

書き込みフォーム

<https://forms.gle/MrdLH9bB1RHIAHUR9>

フォームでは、2点聞いています。



- ①コロナ感染拡大で、現在、直面している状況・課題・問題点など。
- ②上記の問題を是正するために必要と思われる国や自治体への要望。

・〇園児はほぼ保育所、幼稚園、こども園との併行通園であり、現在保育所、幼稚園、こども園での感染が広がっていて毎日連絡が入ってくる。濃厚接触者に特定されたり、されていなくても保育所が感染によりお休みになったりしている場合は、当園も休んでもらうようにしている。〇日額制により、出席が少ないと収入も減る。「コロナが不安」「本人の通う保育所で感染者があった」「父の会社で感染があった」などにより、欠席者が増えている。職員は出勤しているので給料を払わないといけなくて、欠席者が増えると収入は減る、この日額制の矛盾がコロナにより浮き彫りになっている。
・障害福祉サービスの日額制を改めて、安定した運営ができるようにしてほしい。(広島 障害)

・保護者・親族等の感染により、濃厚接触者となり、欠席した児童はいますが、現在までのところ児童・職員に感染者は出しておらず休園には至っておりません。しかし、いつ直面するかわかりません。マスクなどの衛生用品の消耗品費や衛生用品の備蓄、感染予防にかかる備品の購入・それに携わる職員への賃金等々、コロナ補助金で補っています。自治体によっても対応が違い、施設の精神的負担、労力も大変です。
・医療・高齢・介護・障害分野と同じように、保育分野における無償での定期的なPCR検査を実施して頂きたいと思えます。自治体間格差をなくし、国が国民の暮らしと健康を守るべき手立てと予算を切に願います。
(大阪 保育)